

5 - 5 西日本（九州 - 中国西部）にみられる最近の地震活動の移動について

Migration of Seismic Activity in the Western Japan (Kyushu-Chugoku district)

東京大学地震研究所 茂木清夫

Kiyoo Mogi
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

1978年6月4日鳥根県中部の三瓶山付近でM6.1が発生し、多少の被害があった。また、1975年には阿蘇地震（M6.1）及び大分地震（M6.4）が起こっている。著者はさきに西日本島孤系に沿う地震活動の南から北への移動（Mogi, 1969）を指摘したが、これらの最近の地震はその移動線上に起こったとみることができる。

第1図（a）は1950年から1970年までに起こったM6以上の浅い地震を示したものであるが、その活動域が薩南諸島から次第に北上し、豊後水道に達していたことを示すものである。第1図（b）にはその後発生したM6以上の浅い地震を示したが、最近起こったこれらの3つの地震は、ほぼ上述の南から北への地震活動の移動線上に起こったとみることができよう。

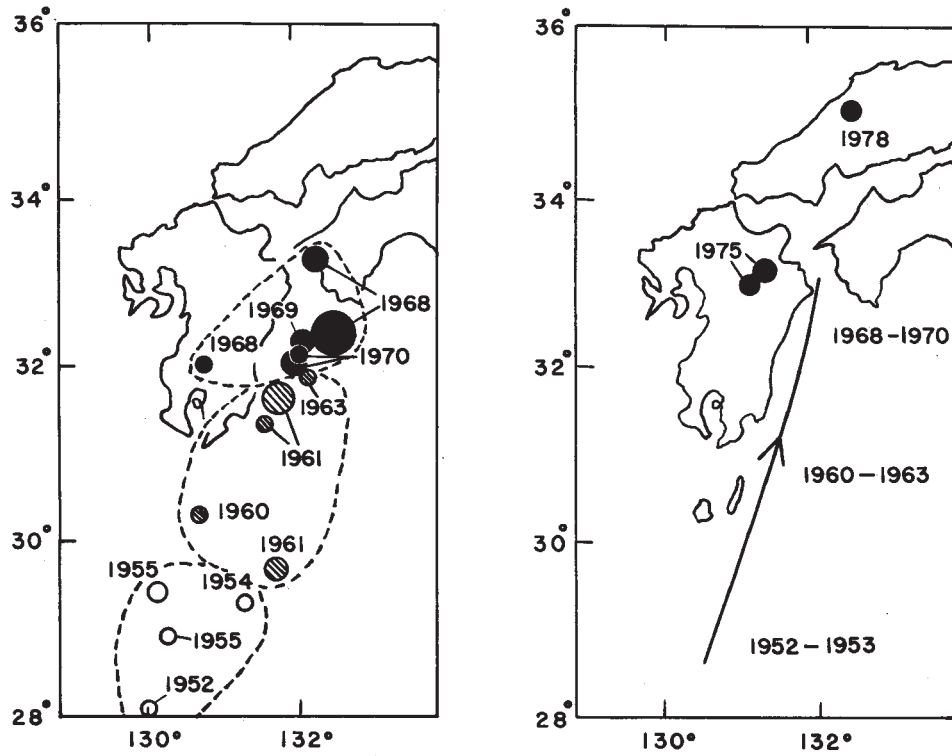
第2図は、1950年以降この地域で起こったM6以上の浅い地震の時間空間分布を示したものである。即ち、同図右の縦軸は緯度、横軸は時間である。丸印はほぼ一つの直線上に並び、南から北への地震活動の移動があることを示唆している。

若しこのような地震活動地域の系統的な移動の存在を認めるならば、現在の活動地域は中国地方西部にあると言える。

以上、1950年以降について述べたが、それよりも前の期間についてはここで示したような明瞭な規則性は認められない。

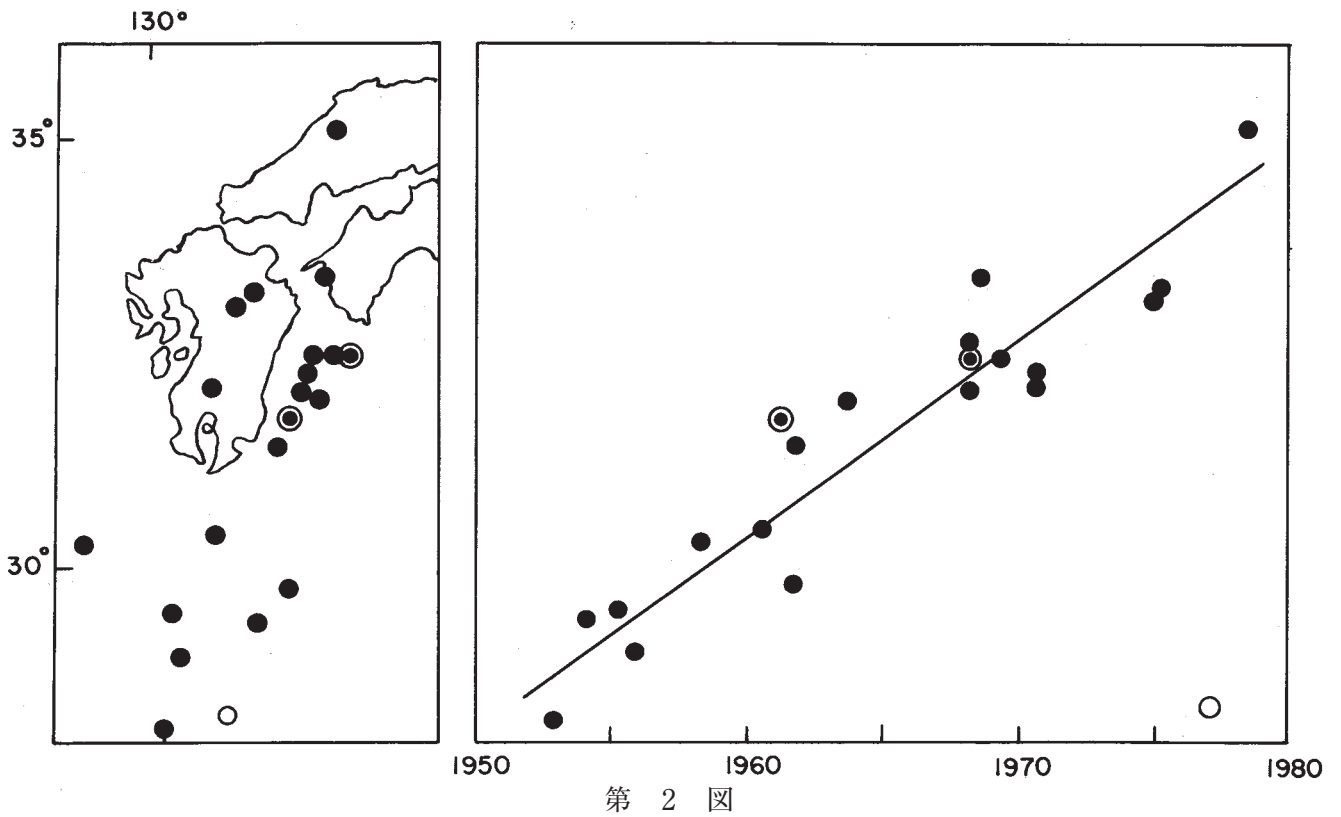
参 考 文 献

Mogi, K. ; Some features of recent seismic activity in and near Japan (2),
Bull. Earthq. Res. Inst., 47 (1969), 395 - 417.



第 1 图

Fig. 1 Spatial distribution of focal regions of shallow earthquakes ($M: 6.0$) which occurred in the western Japan. (a) the period (1950 - 1970), (b) the period (1971 - 1978). Curve: the migration path suggested by Mogi (1969).



第 2 图

Fig. 2 Space-time distribution of shallow earthquakes in the western Japan. Double circle: $M \geq 7.0$, solid circle: $7.0 > M \geq 6.0$.